

学習内容と到達目標

☞ 自分が生まれた町、今住んでいる町の将来を予想し、自分ならその町をどうするかを話す。

指導のポイント

**1. INTRODUCTION** 第11課の復習。4枚のイラストは全て前のステップ（第11課）の本田さんの話を元にしてしているので、11課で学習した「～ばいい」や「～ために」を使ってうまく話せなかった時は、(ストーリーを思い出すことも含めて)復習を入念に行った上でこの課の学習に入る。

**2. SPEAKING** [1.INTRO]のイラストに表現された本田さんの考えをもとに、スピーチ(=選挙演説)を作らせる(書かせて読ませるだけでもよい)。

**3. LISTENING** まずは①の7つの質問に答えられることが重要。難しく、聞いてもすぐに答えられない時は、まず、本田さんの話が以下のような構成になっていることを理解させるところから始める(ちなみにこの演説はキング牧師の「I have a dream!」をイメージして書いた。)

1. あいさつ

2. 問題の所在

2.1 この6年間の変化

\* 川が汚れた、人口が減った ----- 質問1

2.2 市長の市政批判

\* 川の近くに工場を建設、山を削ってホテルを建設など ----- 質問2

2.3 この町の未来予想

\* 川はさらに汚れる、人口はさらに減る ----- 質問3

3. 本田さんの公約 ----- 質問4

3.1 川の再生

\* 川をきれいにする事で、子供たちが川で泳げるようにする。毎日おいしい魚を食べられるようにする。

3.2 農業の再生

\* 農業の発展に力を入れ、おいしい野菜と果物で環境客を呼び込む

3.3 生活の再生

\* 大都市とは違う小さな町なりの幸せを共に見つけよう!

4. 本田さんの夢 ----- 質問5

5. 市民への呼びかけ

内容も語彙も決して簡単ではないので、②では十分に時間をとって内容と語彙を確認する。

#### **4. FOCUS**

①②⑤は機械的にできてしまうので、学習者が文の意味を理解しているか確認しながら練習する。③は（11 課でも説明したように）「漢字を覚える」のように自分の努力次第で結果が決まること（すなわち、自分の意志で制御できること）には「～ために」を、「テストに合格する」のように自分の努力だけでは決まらないこと（すなわち、自分の意志では制御できないこと）には「～ように」を使うという基準で選ばせる。また、④では「～ために」には「目的」の他にもう1つ「原因」という用法があることを理解させる。

#### **5. SPEAKING**

学習者独自の3つの公約を考えさせる（本田さんと同じ美郷市ではなく、自分が今勉強している町について考えると、いくらかアイデアが出やすいのでは？）

#### **6. LISTENING**

①で4人の意見（本田さん支持か現職市長支持か、またその理由は何か）を聞き取らせ、②で「他者への期待」を述べるための表現「～てもらいたい」に目を向けさせる。

#### **7. FOCUS**

単純な練習なので、難なくできるはず。

#### **8. PAIR WORK**

質問の1では「～てもらいたい」を使うように促し、2では特に制約は設けず、自由に話させる。

#### **9. COMPOSITION**

1～4は本田さんの演説と同じ構成なので、モデル会話を参考に原稿を作らせる。

#### 話題の広げ方

☞ 日本では何歳から選挙に参加でき、何歳から国会議員や地方の首長・市議に立候補できるのかについて調べる。また、現在最年少の首長はだれかを調べる。